

申
1
号

第8回定期総会発言等に基づく申し入れ

6月2日開催

団体交渉行おう!! その2

職場で発生している安全問題について労使で議論し、

「安全第一の企業文化をつくり上げていくこと」を労使共通認識とする!!

3. 連続して発生したマジックハンドによる取り扱い誤りの原因と背後要因、対策を明らかにすること。また、全社員（JRからの出向者含む）に対する教育・訓練を再度実施するとともに、定例的に教育・訓練を実施すること。

会社回答

抑止完了確認がされていなかったものが大半であり、2019年10月1日に制定したチェックリストを2020年10月1日に一部改正した。また、運行に関する教育・訓練時間(12時間)を年間で定めており、必要な教育・訓練は実施している。

組
合

- ・線路内拾得物の取り扱い誤りの対策はどのようにしたのか?
- ・対策について全社員に周知すること。
- ・新規採用者や異動者も含めて、全社員対象にした教育・訓練を行うこと。

会
社

- ・2019年度10件、2020年度7件発生し、チェックリストの改正を行った。
- ・訓練や勉強会で周知している。
- ・全社員対象にした訓練・勉強会を行っている。また、エルダー社員を対象にした訓練を、昨年度3回、今年度5回実施する。

4. 列車非常停止装置が扱われた時の取り扱いフローを明らかにすること。また、全社員（JRからの出向者含む）に対する教育・訓練を再度実施するとともに、定例的に教育・訓練を実施すること。

会社回答

フローについては、JR東日本との業務委託契約に明記している。また、運行に関する教育・訓練時間(12時間)を年間で定めており、必要な教育・訓練は実施している。

組
合

- ・取り扱いフローはどのようなものか?
- ・JRからの出向者に対して、「ヘルメットと安全チョッキを着用したうえでホームに出場すること」の教育を行うこと。

会
社

- ・チェックリストを作成している。
- ・出向する前にJRが行っている。また、配属後においても各支店の運行関係社員が教育している。

5. 安全に対する教育・訓練については、机上教育のほかに現車・現物を活用した教育・訓練を実施すること。

会社回答

可能な限り、現物及び現車を活用し訓練を実施している。

組
合

- ・安全に関する教育・訓練は、現車・現物を活用して実施すること。
- ・JRとの合同訓練で「JESSの方は見てくれ」と言われ、訓練に参加できなかった。

会
社

- ・JRの設備を利用しているため回数は少ないが、出来る限り現物及び現車を活用した訓練を実施している。
- ・把握していなかった。打ち合わせ機会を活用しできるだけ参加できるようにしていきたい。

6. 運行业務訓練における現場からの補助講師の選出が各支店によって異なるため、選出方法について明らかにすること。

確認!!

会社回答

補助講師については、会社の判断で決定している。

組
合

- ・補助講師の選出にあたり、事前の心構えやモチベーションの向上ために本人に説明すること。
- ・本人のスキルアップにつながることで、本社としてもバックアップすること。

会
社

- ・了解した。 **確認!!**

(その3)へ続く